

秦野市例規システムの貸借及び保守業務に係るプロポーザル評価基準

次の表の「評価の視点」欄に基づき、それぞれ次の5段階で評価する。

市が求める「評価の視点」について、

A：内容等が特に優れている。 (配点×1.0)
 B：内容等が優れている。 (配点×0.8)
 C：内容等が普通である。 (配点×0.6)
 D：内容等が少し物足りない。 (配点×0.4)
 E：内容等が不十分である。 (配点×0)

| 評価項目 | 評価事項 | 配点 | 評価の視点 |
|---------------------------|--------------|-----|----------------------------------------------------------------------|
| 例規データベースシステム | 検索・閲覧 | 10 | 検索や閲覧の操作は、分かりやすいか、また、利便性はどうか。 |
| | データ更新方法及び時期 | 10 | 例規の更新頻度や納期、また更新方法は容易か。 |
| | システム構築方法及び時期 | 5 | データ移行を含め、システム構築を期間内に実施し、納品が可能か。また、データ移行のための本市の作業等に負担はないか。 |
| ホームページ公開用 秦野市例規集検索システム | 機能 | 10 | 市民が例規を閲覧するに当たり分かりやすい画面構成であるか。検索機能は、市民にとって使いやすいものであるか。更新頻度は適切か。 |
| 秦野市例規集（冊子版） | | 5 | 年4回、議会前に更新が可能か。 |
| 法制執務支援システム | 機能 | 5 | 一般的な改正のほか、表の改正、多段改正、複数施行日、附則での改正に対応しているか。 |
| | | 10 | その他、例規審査を支援する機能、法令や判例を検索する機能はあるか。 |
| | 操作性 | 10 | 例規改廃の操作は、容易で、不慣れな者でも利用可能か。 |
| | 出力体裁 | 5 | 起案時にシステムから出力される新旧対照表や改正文は、本市の書式どおりに設定することができるか。 |
| システムサポート | 体制 | 5 | 操作研修や問合せなどのシステムサポートは充実しているか。 |
| 法制執務支援 | 体制 | 5 | 法制執務の質問又は相談を受けた場合の支援体制はどうか。 |
| 独自提案(付帯システム等) | 有益性・独自性 | 10 | 仕様記載項目のほか、法令改廃情報等の迅速な把握・提供や法制執務体制の充実に寄与する付帯システムなど、本市にとって有益な独自提案があるか。 |
| 導入実績 | 例規業務の導入実績 | 5 | 県内・全国の市区町村、都道府県での例規業務の導入実績は豊富か。 |
| 費用 | コストパフォーマンス | 5 | コストは、機能や効果という点で適正か。 |
| 審査合計（審査員一人当たり） | | 100 | |

※

1 採点方法

上記基準により評価を行い、提案書の評価点を合算し、最高得点を取得した提案者を特定する。

2 評価結果が同点となった場合の処置

最高得点取得者が同点で複数いる場合は、審査項目のうち「例規データベースシステム」及び「法制執務支援システム」の合計点数が高い者を上位とする。合計点数が同点の場合は、くじ引きにより決定する。